

日本生協連HP「復興支援ポータルサイト」連動企画（奇数号掲載）

## フォトルポ 被災地は今

いわて生協宮古コープ 香木みき子理事×山田省蔵カメラマン

※日本生協連HP「復興支援ポータルサイト」にご寄稿いただいた組合員理事と一緒に現地を歩き、「被災地」の今を写真でお伝えします。（取材日時：11月15・16日、場所：岩手県宮古市）



©山田省蔵

「私にとって浄土ヶ浜(上写真)は、宮古市のシンボル、心の原風景です。多くの方が宮古市に足を運んでくださることが、私たちのパワーになります。地域に、多くの笑顔が戻るよう、今後も、さまざまな活動をしていきます」(香木理事)

### 震災から8カ月たった、現在の宮古市



©山田省蔵

津波の被害にあったところと、あっていないところの、思いの格差をどう乗り越えるかも、課題だ。



©山田省蔵

漁港では、サンマの水揚げが行なわれ、活気づいていた。

地域を盛り上げて復興へ



「私は、いわて生協マリンコープDORAを活動拠点とし、復興プロジェクト『かけあしの会』の中心メンバーとして、活動しています。その活動の1つとして、あわびの貝殻を削り、磨いて、アクセサリーを作っています。ボランティアの方や、スタッフ、そして、被災者の方と一緒に作ることで、地域に寄り添い、地域と一緒に盛り上げたいと思います」(香木理事)



皆で磨いたあわびの貝殻を丁寧に加工。

忘れないで、被災地のこと



「やませ」が吹く11月の田老町は、コートの前を閉めないと寒かった。

「できそうにないことでも、『つながり』があると、できそうに思えてきますし、実際にできているんです。生協の協同の力は、あらためてすごいと思います。被災者支援への熱い思いを絶やさず、協同の力で支え合い、共に前に進んでいきましょう」(香木理事)



宮古高校の生徒が書いた「共に生きる」が掲げられたDORA店内。



いわて生協 宮古コープ理事 香木 みき子さん

香木理事の寄稿文は、日本生協連HP「復興支援ポータルサイト」にて、ご覧いただけます (<http://shinsai.jccu.coop/contents/008/>)。